

# パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>

## パーソンセンタード・リスニング・トレーニング 第3回

### 「人間尊重の心理学」を体験的にさらに学ぶ

担当者	青木 剛（南山大学人文学部心理人間学科 講師） 並木 崇浩（愛知淑徳大学学生相談室助教） 大島 利伸（南山大学附属小学校教諭）
概要	<p>パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライアント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。</p> <p>パーソンセンタード・アプローチは、人は誰しも自分のもつ可能性を發揮したいという傾向（実現傾向）への信頼と、自分も相手も大切にするという自他尊重の関係性の探求が基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も、看護者も、グループやコミュニティでの実践者も大切な視点といえるでしょう。</p> <p>このワークショップではパーソンセンタード・アプローチの基礎概念が理解されていることを前提として、その基礎概念をいかしたパーソンセンタード・リスニングを体験的に学ぶことを目的としています。2日間、自分と相手を味わうことを基盤とし、味わう中で生まれる実感を活用したパーソンセンタード・リスニングのそれぞれなりの手がかりをつかめればと思っています。</p> <p>パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをターゲットに考えています。</p> <p>なお、このワークショップは&lt;アドバンス&gt;とあるように、既に予定されている&lt;ベーシック&gt;を修了していることを前提としてプランニングされています。この&lt;アドバンス&gt;としてのパーソンセンタード・リスニングでは、&lt;ベーシック&gt;での体験をふまえて、さらに傾聴についての理解を深めます。</p>
日程	2024年 10月5日(土)10:00~17:00 10月6日(日) 9:30~17:00
定員	30名
会場	南山大学 D棟 D51教室
参加資格	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>を修了していることが前提となります。
受講料	18,560円<税込>
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 青木 剛 記</p> <p>2024年10月5日(土)10:00-17:00、6日(日)9:30-17:00の日程で、第3回「パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ&lt;アドバンス&gt;パーソンセンタード・リスニング」を実施し、23名の方に参加していただきました。毎回、プログラム内容をマイナーチェンジしつつ行っていて、かつ、担当者も毎回変わることそれぞれの強みを活かせるような内容としています。</p> <p>感想からも、講師が三者三様であったことがよかったということを書き添えてくださっていて、うれしく思いました。参加者のみなさんはそれぞれ意欲的にワークに取り組まれ、その中では自分にとってできている人間尊重のかかわりに気づかれる場合もあれば、自分の苦手な部分に気づかれたりすることもありました。PCAに関する理論的な背景は、書籍等で解説されております。</p> <p>が、それらを実現することが頭で理解するよりも難しく、むしろ、みなさんに体験的に理解していただく方が、それぞれの参加者の方に頭で理解してもらう前に既に備わっているリソースがあることに気づいてもらうことができ、かつそうした個人に備わっているリソースを活かしてもらえないのではないかという願いを込めて、これまでこのワークショップを行ってきました。今回の体験が、そうしたことにつながっていれば幸いです。</p> <p>ワークショップの最後に参加者の方には担当者の青木の所属が変わるためにこのPCAワークショップはひとまず今年度で閉じることをお伝えしました。</p> <p>これまで参加していただいた方にもお伝えしたく、このメルマガの場をお借りしてお伝えさせていただきます。今回を含めて、これまで参加いただいた方が、それぞれの場でそれぞれの方なりのPCAの実践を展開して下さるとうれいのです。みなさま、ご参加いただきありがとうございました。</p>